

## ★いつ、どうやって伊佐具神社(いさぐしんじや)から校章を受けたの？

校章を定めた日は昭和11年8月29日で、当時は園田(そのだ)と記していました。昭和11年11月1日に伊佐具神社にて、校旗の入魂式(にゅうこんしき)が行われました。伊佐具神社御紋に基づいた校章ですが、色合いについては、黄菊(きぎく)の色より鮮やかで目立つ橙色(だいたいろ)もしくは金色としています。また、デザインも16弁を12弁に改変し、円心(巴の部分)を大きくするなど見やすいものとなっています。 \* 「弁」とは花びらの枚数 12弁は12枚

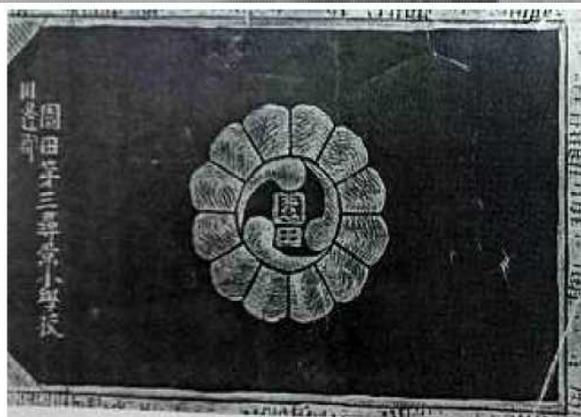
12弁になった理由をはっきりしていませんが、弁数を減らすことでかんたんにした、あるいは皇室(こうしつ)と同じ十六菊(じゅうろくぎく)を遠慮(えんりよ)したのではないかと考えられます。

東京都豊島区(としまく)の区章(くしょう)も同じく、16弁をさけて12弁としているようです。これらは、だいたい昭和20年代以前のことであって、昭和30年代以降は16弁の公的(こうてき)な使用は各地で見られます。

\* 「皇室」とは、天皇家一族のこと \* 「公的」とは、公共、みんなが使うもの



昭和11年9月1日 園田尋常第一小学校(そのだじんじょう だいいちしょうがっこう)でのお別れ式のあと、伊佐具神社から紋をいただく金井校長



昭和11年11月1日 校旗入魂式

